

河川砂防技術研究開発公募 砂防技術分野 平成23年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
類型化に基づく地震による斜面変動発生危険箇所 評価手法の開発(研究期間:H23年~H25年)	弘前大学 教授 檜垣 大助	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>地震による斜面変動危険箇所評価手法を広域危険度評価と危険箇所抽出に分けた。前者では、過去の地震による地すべり・崩壊等の斜面変動発生事例のデータベースを作成しそのGIS統計解析等から、発生が多い幾つかの地質地域を対象とした階層構造分析法(AHP法)を用いた地形・地質的要因による危険地域評価手法を開発した。後者では、地震応答解析や高精度地形図判読等の調査・解析手法を提案した。そして、これらについて実務者向けの調査要領案を提案した。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究では、過去の地震による地すべり・崩壊等の斜面変動発生事例を収集し、その統計解析等から、地質・地域に対応して発生しやすい斜面変動現象を類型化することにより、地形・地質的要因による危険地域評価手法の開発及び地震応答解析や高精度地形図判読等の調査・解析手法を提示しており、地震による斜面変動発生危険箇所把握の精度向上が期待できるものである。</p> <p>今後は、地震規模との関連について、より詳細な解析検討が必要である。また、本研究成果が南海トラフ巨大地震、首都直下型地震等の減災対策へ活用するうえでも、引き続き、実用化に向けて検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い